

FDI マドリード 2017 レポート

～世界の女性歯科医事情～

第1回 女性歯科医師活躍ボード

平成29年10月4日（水）

学術・国際渉外担当理事 佐藤真奈美

1、 ADA レセプション

★ADA 元会長キャロル・サマーヘイ先生からのメッセージ～

米国歯科医師会では、自分（前会長）とマキシ―・ファインバーグ先生（元会長）が女性であったことから、女性のリーダーシップ向上を目指している。

具体的には、様々な仕事を抱えている女性歯科医師グループや歯学部、歯科大学を訪問し、女子学生に会うなど精力的に活動を行っている。

自分が会長職に就いているときは40校の歯学部、歯科大学を訪ねた。

元会長のマキシ―先生と分担して、できるだけ多くの歯科大学を訪ねて女性の学生にアプローチをしようということを試みた。



（写真左2枚：インタビューの様子と佐藤副会長・小山常務理事と共に）

自分達が歯科医師になった当時、女性は少なく、メンターにあたるような人達も男性だった。私達は女性歯科医師グループに会う中で、若い人達だけではなく、お母さん方、子育て中の人などとにかくいろいろな女性歯科医師に会った。そうすると彼女達の立場や抱えている悩みが同じなのでフランクに話してくれた。例えば、子育ての大変さ、その中で歯科医師を続けていく大変さなど、自由に安心して何の気兼ねもなく話せる場を作ることができた。年上の女性が年下の女性に、どのような経験をしてきたか話をするとところに意義があり、私達は繋がることのできるのだ。そのような活動が女性歯科医師を助けていくことになると思っている。

「あなたにもできるわよ！」と言葉を投げかけてあげることが、女性のリーダーとしてとても重要なこと。悩んでいるときに「大丈夫、あなたもできるのよ！」と言われることがどれだけの力になるか。

2、JAPAN NIGHT（日歯と企業4社で共催）

★韓国歯科医師会

JAPAN NIGHTには、世界各国から実に多くの方々にご参加いただきました。

中でも、韓国女性歯科医師会の女性歯科医師は大変活発で印象的だった。

（前頁写真右：中央が韓国歯科医師会副会長のパク先生、左はWDWメンバーのジーナ先生）

韓国歯科医師会は、全国の歯学部・歯科大学11校において奨学金制度を設けており、対象は女子学生1名。全国で毎年11名の女子学生に施行し、人材育成に繋げている。具体的な説明はなかったが、米国も韓国も何がしかの形で大学にアプローチしていることがわかった。

★その他の国々の女性歯科医師とも交流

JAPAN NIGHTで名刺交換した先生方は多数。中でも、マレーシア女性歯科医師会会長と秘書
ポーランド歯科医師会の女性歯科医師にも軽いインタビューできた。

3、Women Dentists Worldwide（以下WDW） レポート

★ WDWは世界の女性歯科医師を繋ぐ交流の場であり、情報交換の場。

学術講演を含むフォーラムを開催する部会の一つとして、FDIで認知されている。

今年のFDIマドリードでは任期満了に伴いFDI会長が交代。

新会長はアメリカの女性歯科医師キャシー・ロス先生で、FDIの女性会長として実は3人め。

2人目はTCウォン先生で、2015年東京国際フォーラムで開催された世界会議にもご出席下さっている。さらに遡ると初のFDI女性会長ミッシェル先生はWDW創設者でもあり、この3先生は各国歯科医師会会長を歴任している。熱気あふれるパワフルな女性歯科医師が世界には数多く存在するのだと実感した。彼女達の牽引力は、WDWセッションを通して毎年粘着力・求心力を増し、パリ2000で誕生したWDWは、今年17年目になる。



WDW創設者ミッシェル先生と、日本から参加した女性歯科医師の先生方
竹内千恵先生 倉治ななえ先生 長野えり子先生 成島順子先生 岩崎万喜子先生